

第2学期終業式式辞

皆さん、こんばんは。8月29日に始まった2学期も、今日でおしまいです。あと11日で今年が終わり、新しい年を迎えることになります。本日は、今年一年を振り返って、新年に思いをはせてもらいたいと思います。

さて、今回は皆さんが普段生活している地域について話したいと思います。ここにいる皆さんは、兄弟を除けば、一人一人住んでいる場所が異なります。おそらく、日常生活の中では、自分の住み暮らしている地域のことを意識することはあまりないでしょう。

では、一体どういったときに、私たちは地域を意識するのでしょうか。これが授業であれば、皆さん一人一人に尋ねたいところですが、そうもいきませんので、今回はAIに聞いてみました。すると、「自分の住んでいる場所に対して、愛着や誇りを感じたり、問題や課題を解決したり、より良くしたいと思ったりする時だと思います」という回答が返ってきました。

この返答をみる限り、至極まっとうな回答だと思います。普段私は、文献を調べたり、インターネット上で検索した

りして文章を考えます。今回初めてA I を使いましたが、便利だなと思いました。ただし、それに頼り切ることは問題です。あくまで、自分の考えやアイデアを補強するために使用する、という条件の下に使用すべきでしょう。

話が少しそれました。私は先ほどのA I の回答に加えて、就職や進学で地域を離れたとき、他の地域に旅行したときなども含まれると思います。

私は、これまでに国内外の様々な場所を訪れました。訪れた場所では、美しい自然や様々な人々に出会い、楽しい思い出がたくさんできました。旅先で出会う人々は、民族や国籍、宗教、文化、言語、風俗、習慣なども異なります。

たとえば、東北地方を旅しているとき、聞くとはなしに、地元の人同士が話す言葉が耳に入ってきました。しかし、所々の単語は聞き取れたものの、地元の人が話す方言はほとんど分かりませんでした。その時は、同じ日本語でもこんなに違うのかと思いました。

また、ドイツやフランスに行ったときは、片言の英語と身振り手振りで現地の方と話すことができました。海外に行く前は、自分の言葉が通じるだろうかと不安に思ったものですが、案外なんとかなるものです。

私が、これまで様々なところを訪れて感じるのは、日本という国や地域の良さです。この場合の地域は、田舎と言

い換えてよいかもしれません。特に海外旅行に行くと、日本の良さがよく分かります。おそらく、日本ほど治安がよく、風光明媚な国はそう多くないと思います。ただし、これはあくまで私の考えですから、他の人が同じように考えているとは限りません。

また、皆さんが暮らしている地域についても、ここにいる一人一人捉えた方が違うかもしれません。「田舎がいい」という人もいれば、「都会がいい」と考える人もいるでしょう。また、私のように年齢を重ねた大人と、皆さんのような学生とでは考え方が異なるかもしれません。それは、普段自分が生活している地域以外の場所を知っているかいかも関係しているでしょう。

ところで、「かわいい子には旅をさせよ」という諺があります。本来の意味は、「子供がかわいいなら、甘やかさないで、世の中のつらさを経験させたほうがよい」です。しかし、私はその言葉通り、子供に旅行を勧める意味合いで用いてもよいと思います。

自分の殻に閉じこもっていても、分からないことがあります。それと同じように、狭い範囲で生活しているとどうしても視野が狭くなり、考え方も保守的になります。そうならないためにも、地域を飛び出して様々な場所を訪れることを皆さんにお勧めします。

その上で、皆さんが今住んでいる地域のことを見つめ直してほしいと思います。いずれ本校を卒業したら、皆さん一人一人、別の道を歩いていくことになります。就職や進学で県外に出たり、もしかしたら海外に行く人がいるかもしれません。しかし、たとえどこにしようと、皆さんが住み暮らした地域は、「忘れがたき故郷」として皆さんの心の中に残っていくでしょう。

今は、そういったことを実感できないかもしれませんが。しかし、いつか私の言っていたことを思い出して、地域の良さに気付いてほしいと思います。

以上で、私の話を終わります。良い年を迎えてください。